

ユナイテッド・フィリピーノ・コミュニティ・イン・ヒガシウラ

United Filipino Community in Higashiura

United Filipino Community in Higashiura (UFCH)は、東浦町に住む50人のフィリピン人が中心となり、立ち上がった団体です。設立には名古屋市にあるNGO団体「Filipino Migrants Center (フィリピン人移住者センター)」がサポートし、特に日本語の分からない人を支援するために作られました。

「共有」「手助け」「交流」

グループの主な目的はフィリピンのユニークな文化とその特徴を日本人に伝え、共有することです。加えて、日本に住んでいるフィリピン人が直面しているさまざまな問題の解決に向けサポートを行い、フィリピン人同士の交流を深めることを目指しています。



クリスマス・パーティー

さまざまな活動内容

東浦町の地域のお祭りでは、フィリピンの伝統的なダンスを披露したり、ブースを出展したりして、積極的に参加しています。代表のマリアンさんは、「文化の交流がなぜ必要なのか」というと、お互いの文化を認め合いながら良好な関係を築くことが大切だと考えているからです」と話します。また団体のメンバーに対しては、日常生活や日本の法律などに関する情報提供やカウンセリングを行っています。相談の内容は、健康相談、家庭内暴力、仕事場での差別や言語の問題、学校生活、健康保険に関する問題などがあります。そして現実には多くのメンバーの直面している重大な問題が、日本語能力の不足です。日々の暮らしで直面する困難を解決するためには、日本語でコミュニケーションをとる必要があります。しかし実際には、日本語の出来るスタッフが通訳したり、代わりに

書類の作成をしたりしています。そのため、団体はそれぞれのメンバーに日本語の学習をしっかりと行おうよう勧めています。



東浦のまつり

「外国人」と「日本人」の区別をなくす

マリアンさんは東浦町でよく問題になっていることとして次のことを挙げました。「日本人にも外国人にも悪いところはあるけれど、外国人は日本人を見本としているところがあります。たとえば夜のうちにゴミを捨てている日本人を見かけると、それをマネする外国人が出てくるのです。しかし、翌日怒られるのは外国人だけです」。このようなケースは東浦町に限らず、しばしば聞かれることです。「外国人も日本人もルールを守ることが大切です。外国人にも法律や規則をきちんと教えてほしいと思います」とマリアンさんは話します。

双方の歩み寄りが必要

加えて彼女は、「私たちが日本に望むことは、国籍や言語のちがいかかわらず平等な社会になることです」と言います。フィリピン人の中には仕事場で差別されたと感じている人もおり、その理由の一つに日本語が話せないことがあると、マリアンさんは考えています。「差別は起きてはなりません。人々は国籍に関わらず平等ですから、みんなが対等に扱われるべきです」。同時に、「フィリピン人は仕事場で主張する方法を学ばなければなりません。日本語を勉強することは、フィリピン人だけでなく、日本で働いているすべての外国人にとっても重要です」と話し、差別を無くすために双方の理解と努力の必要性を説いています。

今後やってみたい活動

今はメンバーそれぞれが仕事で忙しく、ミーティングに参加するメンバーが少ないことが悩みです。今後は、日本語コースやスポーツなどのグループ活動を活発に行うとともに、日本人にフィリピンの特徴や文化をより広く知ってもらえるように活動していきたいと考えています。

読者へのメッセージ

フィリピン人は日本の社会になじみ共存することで、理想とする幸せな社会が実現することを強く望んでいます。

(千葉 マリアン)



団体の集合写真

United Filipino Community in Higashiura

代表: 千葉 マリアン
住所: 愛知県知多郡東浦町
TEL: 090-5627-2289
Email: cmarian_09@yahoo.com
HP: <http://ufch.yolasite.com>
設立: 2009年

Purpose of Activities

The main purpose of the organization is to share to the Japanese people the unique culture and traits of Filipinos through cultural presentation. Also, the organization aims to help fellow Filipinos in solving their problems and to promote camaraderie.

Contents of Activities

The group is interested in cultural promotion activities by participating in the annual holding of local festival through traditional dances. The organization also provides counseling to members in their daily living and information on Japanese laws and system.

Message to the Filipinos

For the Filipinos not to forget our own traditions which we have to share to the Japanese community, to be united as a Filipino community, and to attend gatherings/events to obtain information and potential solutions to daily problems while living in Japan.

Representative: Marian Chiba
Address: Higashiura-cho, Chita-gun, Aichi
TEL: 090-5627-2289
Email: cmarian_09@yahoo.com
Covered Area: Higashiura-cho, Aichi
Date of Foundation: 2009
Number of Members: 50
Group Characteristic: Group of volunteers who are willing to help fellow Filipinos in Japan.

